

広報

2011
(平成23年)



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

9

No. 601



まちひと百景

古丹別サンダース大健闘！

第32回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球大会に留萌支部代表として出場した古丹別サンダースが、見事第3位に輝いた。

レギュラーには3、4年生も名を連ねているが、物怖じしないプレーで高学年にも負けない大活躍。本町に元気と勇気を与えてくれるとともに、苫前町の名を全道に知らしめた。

- 子どもが大活躍・・・2～3
- 親子料理教室ほか・・・4
- センター市ほか・・・5
- 国民年金・川柳ほか・・・6
- 健康ばんざい・・・7
- 学びの広場・・・8
- 国民健康保険ガイド・・・9
- 住まいる情報・・・10～11
- ちびっ子ギャラリー・・・12

まちの人口

人口／3,589人(男／1,704人：女／1,885人)
世帯数／1,635世帯 (8月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

大活躍！古前町の子ども達

古丹別サンダース 第32回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団 軟式野球大会において第3位！

スタルヒン杯争奪全道大会での成績

- 1回戦 古丹別サンダース 4-0
羅臼春松イーグルス (根室支部)
- 準々決勝 古丹別サンダース 6-2
鳥西メジャーズ (釧路支部)
- 準決勝 古丹別サンダース 1-3
神居野球スポーツ少年団 (旭川支部)



7月26日(火)〜29日(金)に開催された第32回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球大会において、留萌支部代表として出場した古丹別サンダースが快進撃を続け、第3位に入賞した。

1回戦では、根室支部代表の羅臼春松イーグルスと対戦、完封勝利を収めスタルヒン杯初勝利。準々決勝でも釧路支部代表の鳥西メジャーズと対戦、1回戦の勢いで撃破、準決勝に進出した。

準決勝は、旭川支部代表の神居野球スポーツ少年団との対戦。2回に二塁打を足がかりにスクイズで先制するも、相手チームがそのウラに2点、4回にも1点を追加、味方打線にあとも1本が出ず1対3で惜しくも敗退となった。

8月22日(月)には平井廉主将より「マチの皆さんの応援で3位になることができました」と、松浦隆史監督代行も「笑顔あふれる元気なプレーを見ることができた」と森町長ほかに笑顔で報告した。

永井星奈さん (古丹別中学校1年生) 平成23年度「少年の主張」留萌地区大会 最優秀賞！全道大会へ！



7月27日(水)に留萌合同庁舎で開催された平成23年度「少年の主張」留萌地区大会で、本町代表で出場した古丹別中学校1年生の永井星奈さんが最優秀賞を収め、9月2日(金)札幌市で開催される2・7で開催される全道大会への出場を決めた。

「強く生きるために」と題した主張内容は、東日本大震災を新聞やテレビで見て多くの方が亡くなることと、身内を亡くした経験を重ね合わせ、人と人との関わり大切さを発表した。

審査委員長は「論旨や発表態度を中心に審査を行ったが、1年生ながらすばらしい内容だった」との評価を得て、出場者唯一の1年生が最優秀賞の受賞となった。

全道大会に向けて永井さんは「全道大会はレベルが高いと聞いているが、全力で発表していきたい」と意気込みを語り、同校の北村安雄校長も「いろいろな考え方ももった生徒との交流は、大きな経験になるに違いない」と述べた。

黒田愛梨さん (古丹別中学校2年生) 留萌地方中体連女子卓球大会個人戦 第4位の成績で北海道中学校卓球大会へ出場！



まことに力を発揮を身でしつゝわれまじや!

西村拓真さん(北海高等学校2年・古丹別出身) 第93回全国高校野球選手権南北海道 大会を制し、甲子園出場へ貢献!



7月24日(日)に全国高校野球選手権南北海道大会で駒澤大学付属苫小牧高等学校を延長の未破り、本大会出場を決めた北海高等学校で本町出身の西村拓真さん(古丹別中学校出身)が活躍している。

西村さんは、古丹別小・中時代から野球少年団・野球部に所属、中学時代には第7回留萌管内中学校野球大会で苫前中学校と合同チームで出場し優勝、北海道中学校軟式野球選抜選手権大会では副キャプテンとして活躍した。

今春の高校野球春季北海道大会でリリーフや先発をつとめ、無失点で切り抜けるなど頭角を現し、第93回全国高校野球選手権南北海道大会札幌F地区代表を決める札幌琴似工業高等学校戦や南北海道大会準決勝の苫小牧中央高等学校戦で先発、3安打完封と好投し、本大会出場に大きな貢献をしている。

なお、北海高等学校は甲子園1回戦で8月7日(日)に明徳義塾高等学校と対戦し、2対3で敗退、残念ながら西村さんの出番はなかつたが、すでに3年目の春のセンバツや夏の甲子園にむけ新チーム体制で始動している。

山本将悟さん(札幌第一高等学校3年・東川出身) 平成23年度全国高等学校総合体育大会(北東北インターハイ) 男子バレーボール競技大会で活躍!



7月29日(日)秋田県横手市で開催された平成23年度全国高等学校総合体育大会(北東北インターハイ)男子バレーボール競技大会に出場した札幌第一高等学校で本町出身の山本将悟さん(古丹別中学校出身)が活躍している。

山本さんは、古丹別小学校時代にバレーボールと出会い、古丹別windsに所属、当時は男女混合で大会に出場した。卒業後、古丹別中学校に入学したものの男子バレー部に所属し活動していた。

しかし、バレーボール競技の楽しさが忘れられず、札幌第一高等学校に進学、現在に至っている。

本年6月旭川市で開催の北海道高等学校総合体育大会(北東北インターハイ)の出場権を獲得。7月30日秋田県横手市での北東北インターハイでは、決勝トーナメント1回戦で岡山県玉野光南高等学校と対戦、善戦もむなしくセットカウント0対2で敗れた。

しかし、8月13日から東京都で開催された全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会では第3位になるなど活躍、今度は春高バレー全国大会出場に向け、練習に励んでいる。

6月30日(木)に増毛町で開催された留萌地方中体連女子卓球大会で、古丹別中学校2年生の黒田愛梨さんが個人戦で第4位となり、第41回北海道中学校卓球大会へ出場権を勝ち取った。

8月2日〜4日に浦河町で開催された第41回北海道中学校卓球大会では、1回戦で地元浦河第一中学校の選手と対戦し3対0で勝利、2回戦では尾札部中学校の選手と対戦したが、善戦もなしく0対3で敗れた。

引率した平山由美教諭は「2回戦は全国大会出場経験者だったが、果敢に攻めていたので、たくましさを感じた。これからも期待している」と述べた。

黒田さんは「今回は管内大会で第4位になれたので、来年はもっと上を目指して技術を磨きたい」と意気込みを語った。

親子料理教室「うどんづくり」

町食生活改善協議会（間宮由紀子会長）と留萌振興局の共催による親子料理教室「うどんづくり」が7月30日（土）町公民館で親子6組16名が参加し開催された。

間宮会長の挨拶、駒井紅美栄養士より手打ちうどんの作り方の説明の後、調理をスタートした。

うどんの材料の小麦粉は、地元産の「春よ恋」を使用、薄力粉と塩、水を使って生地をこねたり、足踏みしながら、「つかれる」とつぶやきながらも懸命に生地づくりを続けていた。

30分ほど生地をねかせている間に五目かしわうどん用の鶏肉や油揚げ、干しいたけなどを切ってタレに加えた

り、夏野菜サラダ用の野菜を切ったり休まず作業を行った後、子ども達は、ねかした生地を四角く伸ばし、麺がどのように出てるかを確認しながら手動製麺機のハンドルを回していた。

試食でも、自分の作ったうどんに満足げな表情で食していた。



古丹別商業部会夏祭り

古丹別西2条線の古丹別齒科診療所から公民館前を通行止めにして、歩行者天国としてビールや食べ物などの露天を実施、地元商店を利用していただいている住民の皆様に感謝する消費者還元イベントとして、7月30日（土）に古丹別商業部会（西裕正部会長）主催による夏祭りが開催された。

古丹別市街地で歩行者天国としてイベントを実施していたのは、昭和50年代後半に通称大通り（道道羽幌原野古丹別停車場線）の一部でふるさとまつりが開催されて以来、実施されておらず久々の開催となった。

オープニングとして苫前商業高等学校校吹奏楽部が演奏しスタート、1等の

22型地上デジタル放送内蔵テレビが当たるビンゴ大会では、飲食する手を休め、読み上げられる番号にカードを凝視し一喜一憂する姿が見られ、大いに盛り上がった。

また、ビールや焼き鳥、唐揚げ、そばなどの飲食物やくじ、日用雑貨などの露天にも行列ができ、暑い夏を満喫したようだ。



水の中なら涼しく泳ぎよう！ジュニアスイミングスクール

暑い日が続く8月1日から4日までの4日間、B&G海洋センター主催のジュニアスイミングスクールが開催され、小学生約20名が水泳の技術向上を目指し参加した。

参加者は全員で準備体操をした後、泳力別にクラス分けられ、それぞれの指導者から指導を受けた。

泳ぎのあまり得意ではないクラスでは、水に顔をつけたりバタ足などの練習で徐々に水に慣れていくメニューで進められ、最初は不安そうだった参加者も後半には笑顔で指導を受けていた。



道北ホルスタイン共進会で本町から出陳の牛が入賞

8月4日・5日に豊富町豊富地域家畜市場で開催された平成23年度道北ホルスタイン共進会で本町9戸から出陳された13頭の乳牛のうち5頭が第1位に輝くめざましい成績を残した。

道内畜産の振興を図るため毎年開催されているこの共進会には、宗谷・留萌地区の各地域の共進会で第1位となった乳牛を出陳、この共進会で第1位となった乳牛は、北海道総合畜産共進会の出場権を得ることができるもので宗谷・留萌地区からあわせて67戸180頭あまりの乳牛が出陳、未經産と経産の部の2部門15部に分かれて審査された。

特に第3部未經産牛14ヶ月以上16ヶ月未満に出陳した本町岩見在任の伊藤雅史さんは、17戸の乳牛のうちで第1等1席を獲得、ジュニアチャンピオンに輝き見事全道共進会への出場権を得た。

他結果は次のとおり（本町1等のみ）

第1部(10~15ヶ月未満 未經産)	クレスタ ジョハナ ポストン ヒロイン	1等1席 中嶋 卓広 氏
第3部(14~16ヶ月未満 未經産)	ウイング パーンズ コロニー	1等1席 伊藤 雅史 氏
第9部(30ヶ月未満 経産)	フォーカスト ドルマン チャーマー	1等1席 丹羽 秀樹 氏
第11部(36~42ヶ月 未經産)	ウイング トイストーリー フィーバー	1等2席 伊藤 雅史 氏
	TDC ロウ メロディ ET	1等3席 苫前町デイリークラブ
	ジュニアショー	TDC デイストライ メモリー
		1等2席 苫前町デイリークラブ

出店に催しに大盛況！ JA 苫前町青年部・女性部等主催の七夕夕市

七夕を翌日に控えた8月6日(土) JA 苫前町駐車場でJA 苫前町青年部・女性部・職員組合の主催による七夕夕市が開催され、曇り空で天候も心配されたが、多くの住民が出店や催しを楽しんだ。

出店には、苫前産メロンの産地直売会や苫前産小麦「春よ恋」を使用した生ラーメンやパン、その麺を使った冷やしラーメンなども販売され、多くの来場者が買い求めている。

また、子ども達向けにくじ引きやヨーヨー釣り、フラッペンなど出店やもちまき大会にも多くの子どもが列を作るとともに、柳の木を設置し、短冊に願い事を書いてもらうなどの演出も実施

された。

さらに、町内外の有志のバンドによるライブやお米や自転車など豪華景品が当たる大抽選会も行われ、読み上げられる番号に一喜一憂の音が漏れ、大盛況のうちに幕を閉じた。



劇的な幕切れに 第32回町民ソフトボール大会

8月7日(日)町野球場で第32回町民ソフトボール大会が開催され、6チームが参加し熱戦が繰り広げられた。

開会式で古丹別中学校チーム尾泉拓くんの選手宣誓のあと、野球場と古丹別中学校の2会場に分かれ、3チームずつ総当たり戦で上位2チームが決勝トーナメントへ進出する予選トーナメントが行われた。

予選では、笑いあふれる珍プレーが続出した中でもキラリと光る好プレーも飛び出し、会場内に声援が飛び交っていた。

決勝戦では、予選で圧倒的な強さで勝ち上がったトリプルパワーズと、接戦を勝ち抜けてきた西川組が対戦、一

進一退の攻防により西川組リードで迎えた最終回にトリプルパワーズが底力を発揮、8対7の逆転サヨナラで西川組を退け、劇的な勝利を収めた。



道指定有形文化財十二面観音立像一般公開・吉村昭特別展

8月8日(月)から役場ロビーにおいて北海道指定有形文化財である十一面観音立像が一般公開、また同時に、本町で正3年に発生した三毛別罌粟事件を描いた小説「罌風」でお馴染みの吉村昭特別展も郷土資料館で開催され、観光客や帰省客が観覧した。

十一面観音立像の一般公開は、平成19年に公開して4年ぶりだが、今回は交付金を活用し、紫外線カットや湿度、湿度を調整できる保管ケースに入れての公開となった。来場した方も「よい顔立ちをしている」など、感想を述べながら鑑賞していた。

一方、吉村昭さんの特別展は北海道立文学館の協力で開催、「罌風」ほか

道内を題材にした小説22冊や雑誌などを借用し、郷土資料館所蔵の罌風の手書き原稿などの資料とともに公開された。

特別展の開催で罌風のDVDを鑑賞される方も多くいるなど、好影響を与えているようだった。



8月9日〜11日までの3日間にブラックポトムプラスバンド(以下BBB)が来町し、各学校吹奏楽部のクリニック及びコンサートを開催した。

BBBのコンサートは平成15年から7年連続となる。今回も苫前商業高等学校、苫前・古丹別中学校・



7年目のBBBBも大盛り上がり!

羽幌高等学校吹奏楽部へ共演の練習を兼ねて、音の出し方などのクリニックを行った。

11日のコンサートでは、ワッシュイブギなど8曲を演奏、そして共演では、4校の吹奏楽部員約70名と「ルパンのテーマ」ほか2曲で大いに会場を沸かせた。



マイプランをしっかりと

国民年金



免除された保険料を追納すると、満額の年金額に近づけることができます

国民年金の保険料免除期間には全額免除、四分の三免除、半額免除、そして四分の一免除の四つの種類があります。これらの免除期間は、老齢・障害・遺族の各基礎年金について、年金を受けるための資格期間をみる場合、保険料を全額納めた期間と同じとみなされます。

ただし、保険料の免除を受けた期間は、老齢基礎年金の年金額を計算するうえでは、免除の種類に応じて給付率が減額されます。また、学生納付特例と若年者納付猶予で保険料の納付の

国民年金保険料免除等による老齢基礎年金の給付率

免除の種類	給付率	
	H21.3以前	H21.4以降
全額免除	1/3給付	1/2給付
4分の3免除	1/2給付	5/8給付
半額免除	2/3給付	3/4給付
4分の1免除	5/6給付	7/8給付
納付猶予(30歳未満)	給付なし	給付なし
学生納付特例	給付なし	給付なし

全額が猶予された期間は、資格期間には反映されても、老齢基礎年金の年金額に反映されないカラ期間とみなされます。

十年以内であれば追納できます

保険料免除期間や納付を猶予された期間は、経済的にゆとりができたときに十年以内であれば保険料を後から納付(追納)して満額の老齢基礎年金に近づけることができます。

追納できる期間の順序は、原則先に経過した月から順次に追納しなければなりません。学生納付特例期間又は若年者納付猶予期間よりも前に保険料免除期間がある場合には、料免除期間を優先して納めるかを本人が選択することができます。追納する保険料額は、保険料の免除や猶予された当時のそれぞれに納付された額に経過期間に応じて決められた額が加算されます。ただし、経過期間が三年以内であればこの加算はありません。

なお、追納した月は、追納したその日に保険料が納付されたものとみなされ、基礎年金等の支給資格期間や年金額等の計算は、保険料納付済期間として取り扱われることとなります。

追納を希望する場合は、「国民年金保険料追納申込書」を年金事務所長に提出します。この「申込書」には、自分の

免除を受けたときの保険料の追料額

	全額免除	4分の3免除	半額免除	4分の1免除
平成13年度の月分	15,350円	—	—	—
平成14年度の月分	14,760円	—	7,380円	—
平成15年度の月分	14,540円	—	7,270円	—
平成16年度の月分	14,340円	—	7,170円	—
平成17年度の月分	14,380円	—	7,190円	—
平成18年度の月分	14,440円	10,830円	7,220円	3,610円
平成19年度の月分	14,470円	10,840円	7,230円	3,610円
平成20年度の月分	14,580円	10,940円	7,290円	3,640円
平成21年度の月分	14,660円	10,990円	7,330円	3,660円
平成22年度の月分	15,100円	11,320円	7,550円	3,770円

免除または納付猶予の期間を確かめます。記入することになった納付書は、年金事務所へお問い合せください。追納の申込み後、承認されれば通知書と納付書が送られてきます。追納は先に経過した古い月の分から納めなければなりません。また、納付書に記載されている期限までに追納をしないと、納めた保険料は還付されることがなりません。

※半額免除は平成十四年四月に、四分の一免除と四分の一免除は平成十八年七月にそれぞれ創設されました。

寄贈されたお手玉を各保育所などへ

8月1日(月)に苫前保育園、古丹別保育所、特別養護老人ホーム苫前幸寿園にお手製のお手玉などが寄贈された。

これは、苫小牧市在住で札幌力屋会の会員である押野ソヨさんがお手玉200個とスポンジボール10個を作成し本町まで持参してくれたもの。園児たちも早速寄贈されたボールで元気に遊んでいた。



旭川地方道新会より車いすの寄贈

道北の北海道新聞販売店で作る旭川道新会が各販売店を通じて集められたリングプルと交換した車いす1台を本町に寄贈した。



8月2日(火)に本町の苫前・古丹別販売所の両所長らより森町長へ贈呈された。

この車いすは公民館に設置され、来館者に利用してもらう予定。

「文芸」

(川柳)

苫前川柳社

だらだらと 後期高齢 下り坂
人生の 殆ど落とすか 夫婦旅
八十路まだ 余白が残る 人生譚
誘い合う 心豊かな 老いの里
物干しに 元気な子等の 影向う
満天の 星とジョッキで 夕涼み

(文責・鎌田)

苫前 小島 信子
苫前 齊敷 範章
札幌市 芳賀 敏美
苫前 関 武
苫前 鎌田 信夫
苫前 鎌田 信夫

(八月号で鎌田信夫様の川柳に間違いがありましたので、修正し掲載します。申し訳ありませんでした。)